




Dell Storage Designed for Scality RING 導入ガイド

規制モデル: E26S Series
規制タイプ: E26S001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell、および Dell のロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 05

Rev. A01

目次

1 概要	5
文書リソース	5
2 Dell Storage Designed for Scalality RING ソリューションのセットアップ	6
概要	6
コネクタ.....	6
物理サーバー	6
スーパーバイザ	7
3 ファイルサービスソリューション	8
4 オブジェクトストレージソリューション	10
5 インストールの必要条件	13
ラックスペース	13
ネットワーク設定および IP アドレス.....	15
スイッチの要件.....	16
管理ネットワーク	16
アプリケーションネットワーク	16
ストレージネットワーク	17
ハードウェアの取り付け	17
設置の概要.....	17
サーバーの開梱.....	17
ラックスペースへの Dell SD7000-S サーバーの設置.....	17
Dell SD7000-S サーバーへのハードドライブの取り付け.....	17
ラックスペースへの Dell SD630-S サーバーの設置	21
ネットワーク接続のケーブル配線.....	21
サーバーのコンセントへの接続	24
サーバーの電源投入	24
6 OS のインストール	25
OS のインストールの概要	25
リモートネットワークアクセス用の iDRAC8 の設定 (オプション)	25
Dell iDRAC8 へのログイン (オプション)	26
仮想メディアを使用した、OS のインストールの開始 (オプション)	26
OS のインストール	27
OS のディスクパーティションサイズの決定.....	27

7 Scality ソフトウェアのインストール準備	28
ネットワークインタフェースの構成	28
ネットワークインタフェース構成の確認	28
8 Scality インストールプロセスの機能方法	29
9 困ったときは	30
デルへのお問い合わせ	30
マニュアルのフィードバック	30
QR コード	30


概要

このソリューションは、PowerEdge サーバーと Dell Storage エンクロージャに基づいたストレージの基盤であり、ペタバイト規模のオブジェクトベースのストレージまたはファイルベースのストレージ用に、Scality ソフトウェアと対になる、非常に高密度のストレージプラットフォームを導入できるようにします。サポートされるサービスには、オブジェクトレベルのプロトコル（Scality REST、RS2/Amazon、Openstack Swift、Cloud Data Management Interface (CDMI)）が含まれます。サポートされるファイルレベルのサービスには、NFS、Server Message Block (SMB) Openstack、Openstack Cinder、およびローカル Linux FS (FUSE) が含まれます。詳細については、Dell.com/sdscalityseriesmanuals を参照してください。

文書リソース

サポートされている Dell と Scality のマニュアルの完全なリストについては、本リリースのサポートマトリックスを参照してください。

Scality は、Scality マニュアルにアクセスするためのログイン資格情報を Scality RING ソフトウェアの購入時に提供します。

 **メモ:** ログイン資格情報が提供されていない場合は、Scality アカウント担当者にご連絡ください。

これらの資格情報は、バージョン固有の WIKI 形式で配信される Scality RING マニュアルにアクセスするために必要です。

トップレベルのマニュアルについては、<http://docs.scality.com> をご覧ください。

選択したバージョンに基づいて、Scality マニュアルページでマニュアルを表示できます。デフォルトでは、最新バージョンが表示されます。

以前のバージョンを表示するには、ドロップダウンリストからバージョン番号を選択し、**Go** (開く) をクリックします。

Dell Storage Designed for Scality RING ソリューションのセットアップ

概要

Scality RING 向けに設計されたすべての Dell ストレージソリューションは、ファイルとオブジェクトとプロトコルの両方を同時にサポートできます。初期構成のベストプラクティスに基づいて、2つのオプション（ファイルサービスソリューション、オブジェクトストレージソリューション）が提供されます。お客様は、ファイルベースのプロトコルで最も一般的な専用コネクタサーバーをいつでも追加することもできます。ほとんどの場合、オブジェクトベースのプロトコルは物理サーバーに直接インストールされるため、この構成には専用コネクタサーバーは含まれていません。

このソリューションの主要コンポーネントは次のとおりです

- アプリケーションとストレージデータとのインタフェースとなる、1つ以上のコネクタ（サーバー）
- サーバーデータに高容量ストレージを提供する Scality RING からの、ストレージノードをホストする物理サーバー
- Scality RING の中央管理コンソールである、スーパーバイザ

コネクタ

コネクタサーバーは、外部アプリケーションとストレージデータとのインタフェースです。コネクタは、お使用のソリューションに応じて、Dell SD630-S サーバーに常駐するか、1つ以上の Dell SD7000-S サーバーによってホストされます。コネクタは、Scality RING によって提供されるサービスに応じた特定プロトコル向けに設定されます。

物理サーバー

Scality RING は、ボトルネックまたは単一障害点を持つことなく、Dell x86 サーバーの容量を集約する分散型ストレージソリューションです。

Dell SD7000-S シングルノードサーバーには、1台の独立した物理サーバーが含まれています。このサーバーには、Intel Xeon EP E5-2600 v3 または v4 ファミリーに基づいたデュアルプロセッサ、12枚の DIMM、オペレーティングシステム（OS）ディスク用に予約された、2個の HDD スロットが備わっており、スレッドと呼ばれる取り外し可能なモジュールにこれらすべてが収容されています。このシャーシには 90 個の HDD/SSD スロットがあり、全スロットがシングルノードに割り当てられています。

Dell SD7000-S デュアルノードサーバーには、2台の独立した物理サーバーが含まれています。各サーバーには、Intel Xeon EP E5-2600 v3 または v4 ファミリーに基づいたデュアルプロセッサ、12枚の DIMM、OS ディスク用に予約された、2個の HDD スロットが備わっており、スレッドと呼ばれる取り外し可能なモジュール

ルにこれらすべて収容されています。このシャーシには 90 個の HDD/SSD スロットがあり、45 個の HDD/SSD スロットがサーバーデータの処理用に各物理サーバーに割り当てられています。

6 台の物理サーバーで構成されるストレージ RING を形成するには、少なくとも 6 台の Dell SD7000-S シングルノードサーバーまたは 3 台の Dell SD7000-S デュアルノードサーバーが必要です。追加の Dell SD7000-S は、任意の単位で追加できます。

スーパーバイザ

どちらのソリューションにおいても、Dell SD630-S サーバーは、Scality RING ソリューションをモニタし、設定する中央管理コンソールとして機能し、スーパーバイザと呼ばれます。

スーパーバイザは受動的に動作し、物理サーバーとコネクタから独立しています。したがって、スーパーバイザがサービスを受けている間でも、ストレージ操作を続行することができます。

ファイルサービスソリューション

ファイルサービスソリューションでは、各コネクタに追加の Dell SD630-S サーバーが必要です。次の図に示すように、Dell SD630-S サーバーはコネクタとして構成されています。次のファイルレベルのサービスがサポートされています。

- ネットワークファイルシステム (NFS)
- Server Message Block (SMB) OpenStack
- OpenStack Cinder
- Local Linux FS (FUSE)

追加サービスを提供したり、性能を向上させたりするために、コネクタとして構成される、追加の Dell SD630-S サーバーをいつでも追加できます。

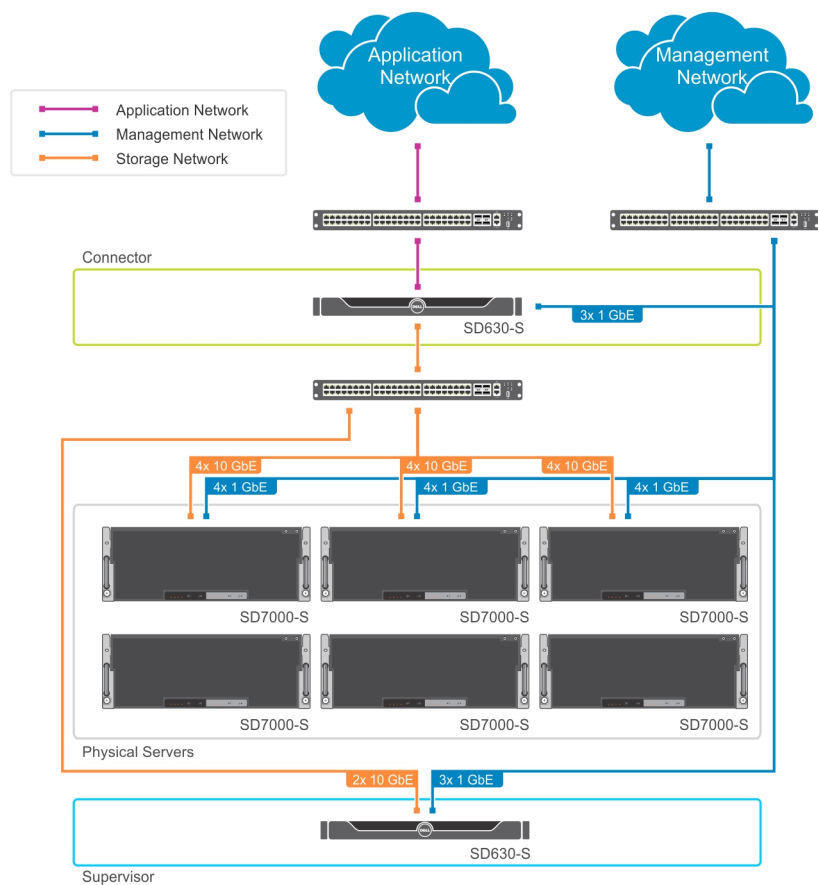


図 1. ファイルサービスソリューション (シングルノード) の物理ダイアグラム

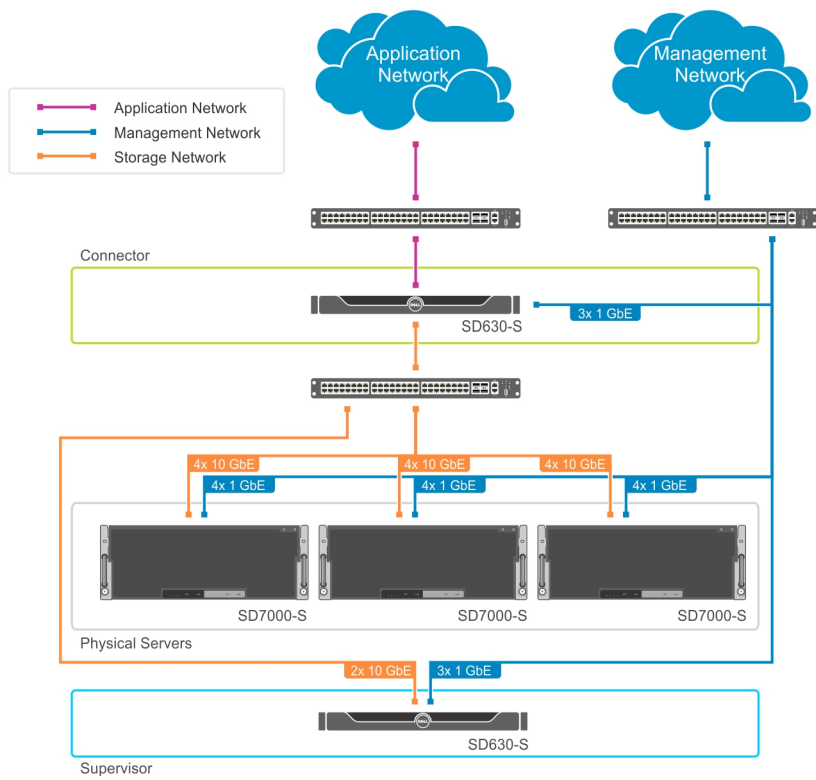


図 2. ファイルサーバーソリューション (デュアルノード) の物理ダイアグラム

オブジェクトストレージソリューション

オブジェクトストレージソリューションは、ファイルサーバーソリューションとは異なります。このソリューションでは、Dell SD7000-S 物理サーバーは、ストレージノードをホストするだけではありません。各物理サーバーは、任意でコネクタをホストできます。各コネクタは、ディスクストレージと外部アプリケーションのインターフェースの提供、リクエストの受信、オブジェクトのディスパッチを行います。

サポートされるオブジェクトレベルのサービスは次のオブジェクトレベルのプロトコルがあります。

- Scality REST
- RS2/Amazon S3
- OpenStack Swift
- Cloud Data Management Interface (CDMI)

次の画像は、オブジェクトストレージソリューションの物理ダイアグラムです。1つ以上の物理サーバーはストレージノードをホストでき、コネクタとしても機能します。次の図のように、冗長 HTTP ロードバランサがアプリケーションネットワークとストレージネットワークをインターフェースして、物理サーバー全体に均一にリクエストをプロキシさせることを推奨します。

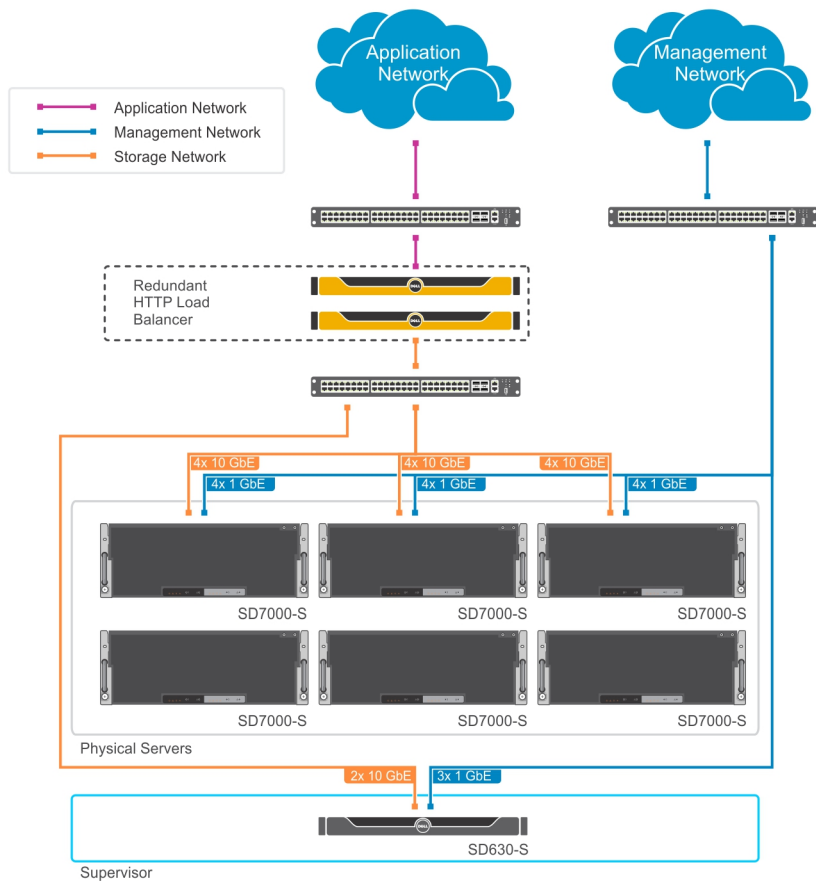


図 3. オブジェクトストレージソリューション（シングルノード）の物理ダイアグラム

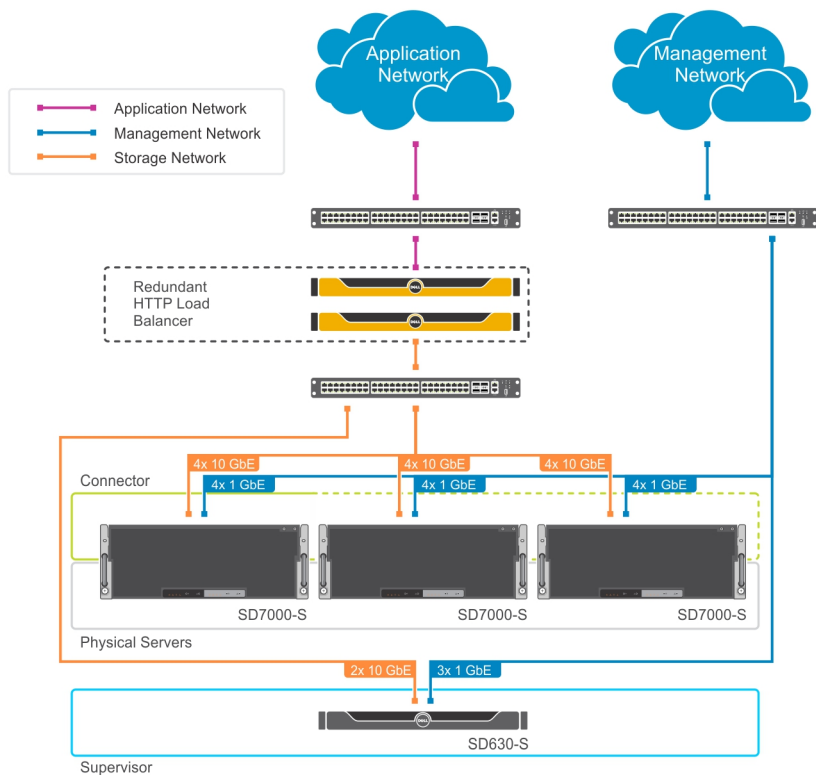


図 4. オブジェクトストレージソリューション (デュアルノード) の物理ダイアグラム

インストールの必要条件

次の項では、インストールの必要条件を概説します。

ラックスペース

次の画像を使用して、ラックを構成します。

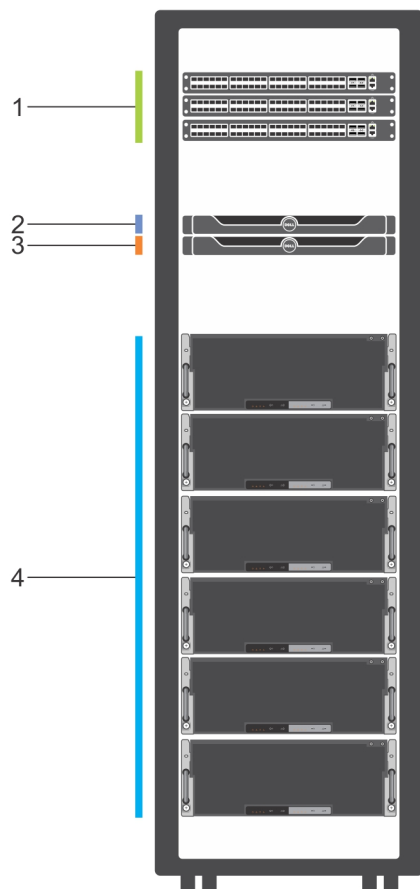


図 5. ラックスペース – シングルノード

- | | | |
|----|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. | 管理、アプリケーション、およびストレージネットワーク用のスイッチ | Dell SD630-S (スーパーバイザ) |
| 2. | | |
| 3. | 1つまたは複数の Dell SD630-S (コネクタ - フ | 最小 6 台の Dell SD C7000 S シングルノード |
| 4. | ァイルサーバーのみ) | サーバー |

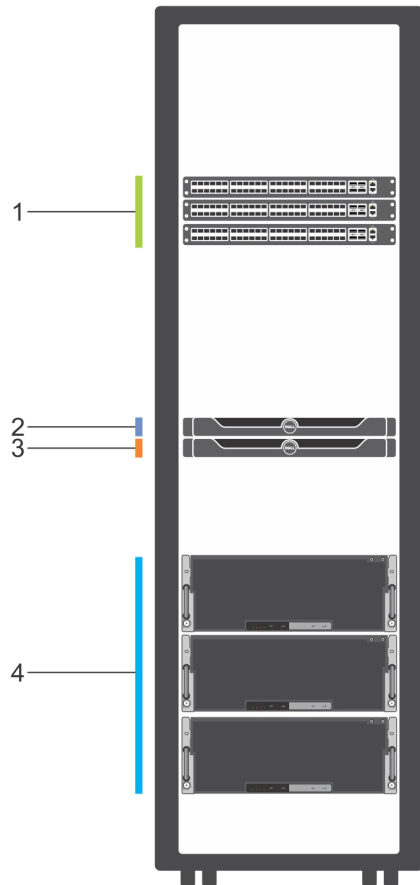


図 6. ラックスペース – デュアルノード

- | | | | |
|----|----------------------------------|----|-------------------------------|
| 1. | 管理、アプリケーション、およびストレージネットワーク用のスイッチ | 2. | Dell SD630-S (スーパーバイザ) |
| 3. | 1つまたは複数の Dell SD630-S (コネクタ - フ | 4. | 最小 3 台の Dell SD C7000 デュアルノード |
| | ァイルサーバーのみ) | | |

Dell Storage Designed for Scality RING では、少なくとも 1200 mm (48 インチ) の奥行きが必要です。次の表に示すように、お使いのソリューション向けのラックに十分な隣接ラックスペースがあることを確認してください。この表に示された要件には、スイッチ用のスペースは含まれていません。

最小構成には 3 台の Dell SDC7000- S デュアルノード物理サーバーまたは 6 台 Dell SD7000-S シングルノード物理サーバーが含まれており、それぞれ 4U の垂直ラックスペースを必要とします。いつでも Dell SD7000-S 物理サーバーを追加して、Scality RING のストレージ容量を拡張することができます。

メモ: 配電ユニットとケーブル管理アームを収容するには、1200 mm ラック (奥行き 48 インチ、少なくとも 130 mm を拡張) が必要になることがあります。これは、Dell SD7000-S (シングルノードまたはデュアルノード) 物理ストレージサーバーの奥行きは 1098.4 mm (43.2 インチ) であり、正面ドアから背面ドアまでのスペースを占めるために、配電ユニットとケーブル管理アームをラック内部に配置する必要があるためです。

メモ: ケーブル管理アームが使用されている場合、少なくとも 130 mm の拡張が必要になります。

表 1. Dell Storage Designed for Scality RING SD7000-S シングルノードサーバーのラックスペース

ファイルサーバー			オブジェクトストレージ		
1つのコネクタでの最小ソリューション	追加された各コネクタ用の追加ラックスペース	追加された各 Dell SD7000-S サーバー用の追加ラックスペース	1つのコネクタでの最小ソリューション	追加された各コネクタ用の追加ラックスペース	追加された各 Dell SD7000-S サーバー用の追加ラックスペース
26U	1U	4U	25U	なし	4U

表 2. Dell Storage Designed for Scality RING SD7000-S デュアルノードサーバーのラックスペース

ファイルサーバー			オブジェクトストレージ		
1つのコネクタでの最小ソリューション	追加された各コネクタ用の追加ラックスペース	追加された各 Dell SD7000-S サーバー用の追加ラックスペース	1つのコネクタでの最小ソリューション	追加された各コネクタ用の追加ラックスペース	追加された各 Dell SD7000-S サーバー用の追加ラックスペース
14U	1U	4U	13U	なし	4U

ネットワーク設定および IP アドレス

この表は、Scality RING ソリューションに必要な最小限の IP アドレスのリストを示します。ファイルサーバーソリューションの要件と、オブジェクトストレージソリューションの要件は異なります。

表 3. 最小の SD7000-S シングルノードソリューションの IP アドレス要件

	ファイルサーバー (1 コネクタを装備)		オブジェクトストレージ (1 コネクタを装備)	
	静的または DHCP	数	静的または DHCP	数
IDRAC サーバー管理	いずれか	11	いずれか	10
サーバー管理	いずれか	10	いずれか	8
ストレージネットワーク	静的	16	静的	14
アプリケーションネットワーク	静的	2	静的	2

表 4. 最小の SD7000-S デュアルノードソリューションの IP アドレス要件

	ファイルサーバー (1 コネクタを装備)		オブジェクトストレージ (1 コネクタを装備)	
	静的または DHCP	数	静的または DHCP	数
IDRAC サーバー管理	いずれか	8	いずれか	7

	ファイルサーバー (1コネクタを装備)		オブジェクトストレージ (1コネクタを装備)	
サーバー管理	いずれか	10	いずれか	8
ストレージネットワーク	静的	16	静的	14
アプリケーションネットワーク	静的	2	静的	2

メモ: Dell SD7000-S (シングルノードまたはデュアルノード) サーバーでは、各物理サーバーに2個の管理 IP アドレスが必要です。各物理サーバーの iDRAC ポートは、iDRAC および OS への同時アクセスを提供します。Dell SD630-S サーバーでは、3 個の管理 IP アドレス (OS にアクセスしない iDRAC ポート用に 1 個および OS へのアクセス用に 2 個の別個の冗長接続を含む) が必要です。

ファイルサーバーソリューションでは、各コネクタに 2 枚のデュアルポート PCI NIC が必要です。

この表は、ソリューションに加えられた各追加コネクタに必要な IP アドレスの数のリストを示します。

表 5. 最小ソリューションの IP アドレス要件

	ファイルサーバー (1コネクタを装備)		オブジェクトストレージ (1コネクタを装備)	
	静的または DHCP	数	静的または DHCP	数
IDRAC サーバー管理	いずれか	1	いずれか	0
サーバー管理	いずれか	2	いずれか	0
ストレージネットワーク	静的	2	静的	0
アプリケーションネットワーク	静的	2	静的	0

スイッチの要件

本項では、管理、アプリケーション、およびストレージネットワーク用のスイッチの要件を定義します。

管理ネットワーク

Dell Storage Designed for Scalability RING ソリューションでは、ストレージネットワーク用のスイッチが必要です。この選択は、Dell SD7000-S サーバーおよび Dell SD630-S サーバーに選択したネットワークドーターカード (NDC) によって異なり、BT、SFP、SR イーサネットネットワークインタフェースの各オプションがあります。

アプリケーションネットワーク

Dell は、2 つの別々の冗長スイッチを介して各サーバからアプリケーションまで接続した 2 つのネットワーク接続を設けることをお勧めします。

ストレージネットワーク

Dell Storage Designed for Scality RING ソリューションでは、ストレージネットワーク用のスイッチが必要です。この選択は、Dell SD7000-S サーバーおよび Dell SD630-S サーバーに選択した NDC によって異なります。

Dell は、2 つの別々の冗長スイッチを経由して各サーバからアプリケーションまで接続した 2 つのネットワーク接続を設けることをお勧めします。

ハードウェアの取り付け

設置の概要

このタスクについて

Dell Storage for Scality RING ソリューションを設置するには、次の手順を完了してください。

手順


1. Dell SD630-S サーバーと Dell SD7000-S サーバーを開梱します。
2. Dell SD630-S サーバーと Dell SD7000-S サーバーをラックに設置します。サーバーのラックへの設置に関する詳細については、ソリューションに含まれている『*Rack Installation*』（ラックの取り付け手順）マニュアルを参照してください。
3. Dell SD7000-S サーバーで HDD と SSD を取り付けます。
4. ネットワークインタフェース接続を適切なネットワークスイッチに接続します。
5. 各サーバーを電源コンセントに接続します。
6. 電源ボタンを押してシステムの電源を入れます。

サーバーの開梱

作業を開始する前に、次のマニュアルをお読みください。

- お使いの Dell サーバーに同梱の『*Rack installation instructions*』（ラック取り付け手順）
- 『*Dell Storage Designed for Scality RING Getting started Guide*』（*Dell Storage Designed for Scality RING* はじめに）
- 『*Dell Storage Designed for Scality RING Owner's Manual*』（*Dell Storage Designed for Scality RING* オーナーズマニュアル）

ラックスペースへの Dell SD7000-S サーバーの設置

 **メモ:** 重量の安定化のため、ラックへの積み込みには、常にボトムアップアプローチを使用します。Dell DS7000-S サーバーは、ラックの底部付近に配置します。


サーバーを設置する前に、Dell SD7000-S サーバーに割り当てられたスペースに、ラック内部に取り付けられた電源ストリップが含まれていないことを確認します。これは、サーバーが正面ドアから背面ドアまでのスペースをすべて占めるためです。

Dell SD7000-S サーバーへのハードドライブの取り付け

ハードドライブは、サーバーとは別の箱に梱包されています。Dell SD7000-S サーバーの上カバーを外して、ドライブを取り付けるには、オーナーズマニュアルの手順に従ってください。

Dell SD7000-S シングルノードサーバーへのハードドライブの取り付け

この図に示すように、各 Dell SD7000-S サーバーの空のスロットに HDD と SSD を取り付けます。下側のスレッド A に配置された物理サーバーは、90 個のスロットにすべて接続します。一番大きい数のスロットに SSD を取り付け、一番小さい数のスロットに HDD を取り付けます。残りのすべてのスロットにダミーカードを挿入します。

 **メモ:** スレッド B は、シングルノード構成では空です。

たとえば、20 台の HDD と 2 台の SSD が含まれる構成では、エキスパンダ A と B のスロット 0~9 に HDD を取り付け、エキスパンダ A と B のスロット 44 に SSD を取り付けます。スロット 10~43 にはダミーカードを挿入します。

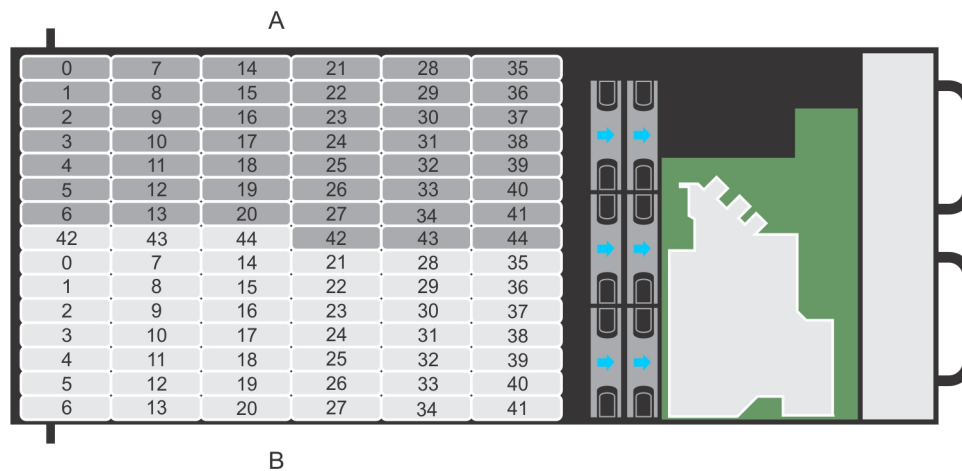


図 7. HDD および SSD の配置を示すためにカバーを取り外した Dell SD7000-S サーバー

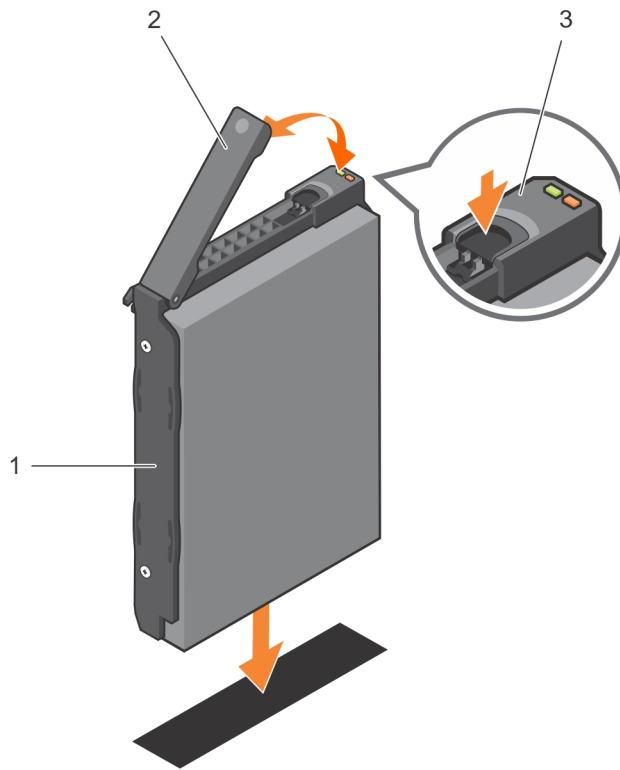


図 8. Dell SD7000-S サーバーでの空のスロットへの HDD と SSD の取り付け

1. HDD キャリア
2. キャリアハンドル
3. リリースボタン

Dell SD7000-S デュアルノードサーバーへのハードドライブの取り付け

この図に示すように、各 Dell SD7000-S サーバーの空のスロットにドライブを取り付けます。下のスレッド A に配置された物理サーバーは、濃い灰色の 45 個のスロットに接続します。上のスレッド B に配置された物理サーバーは、薄い灰色の 45 個のスロットに接続します。一番大きい数のスロットに SSD を取り付け、一番小さい数のスロットに HDD を取り付けます。残りの全スロットにダミーカードを挿入します。

たとえば、10 台の HDD と 1 台の SSD が含まれる構成では、スロット 0~9 に HDD を取り付け、スロット 44 に SSD を取り付けます。スロット 10~43 にはダミーカードを挿入します。

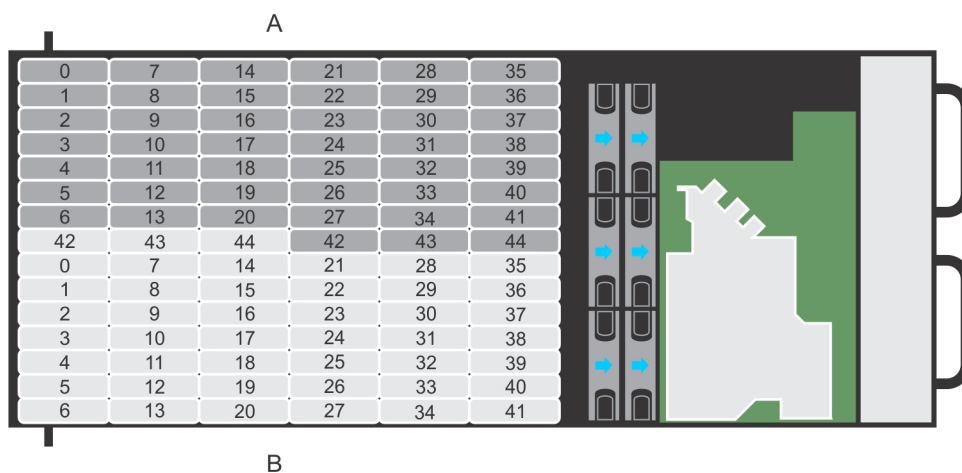


図 9. HDD および SSD の配置を示すためにカバーを取り外した Dell SD7000-S サーバー

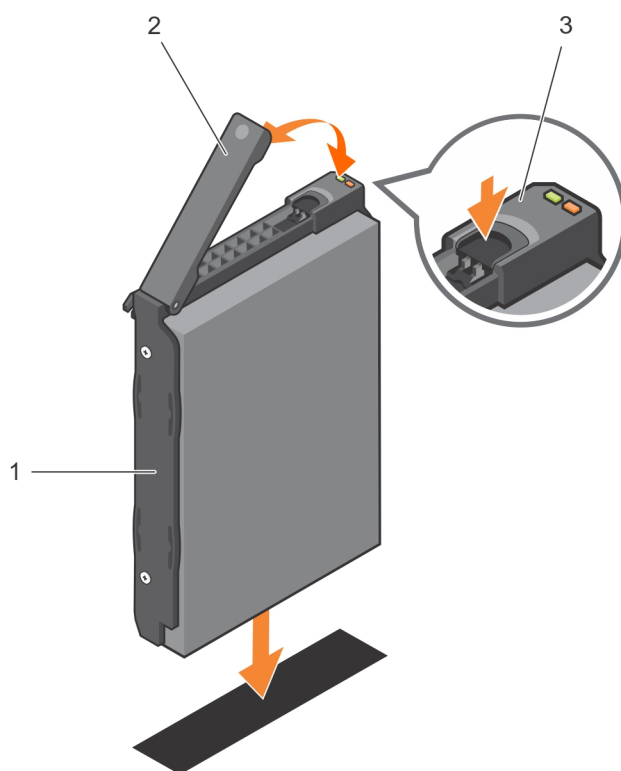


図 10. Dell SD7000-S サーバーでの空のスロットへの HDD と SSD の取り付け

1. HDD キャリア
2. キャリアハンドル
3. リリースボタン

ラックスペースへの Dell SD630-S サーバーの設置

メモ: 重量の安定化のため、ラックへの積み込みには、常にボトムアップアプローチを使用します。Dell SD630-S を設置する前に、まず Dell DS7000-S をラックの底部付近に設置する必要があります。

ネットワーク接続のケーブル配線

本項は、Dell SD630-S サーバーまたは Dell SD7000-S サーバーのネットワークへの接続方法を示します。

メモ: ポート 0 は、背面から見て左側のポート、ポート 1 は右側のポートを指します。ポート 0 およびポート 1 と呼ばれるポートは機能的に代替可能であり、NIC 業者が割り当てた実際のデフォルトポート名を反映していないことがあります。

Dell SD630-S コネクタ (ファイルサーバーソリューション)

次の画像は、ファイルサーバーソリューションにおける、Dell SD630-S コネクタのネットワークへの接続方法を示します。

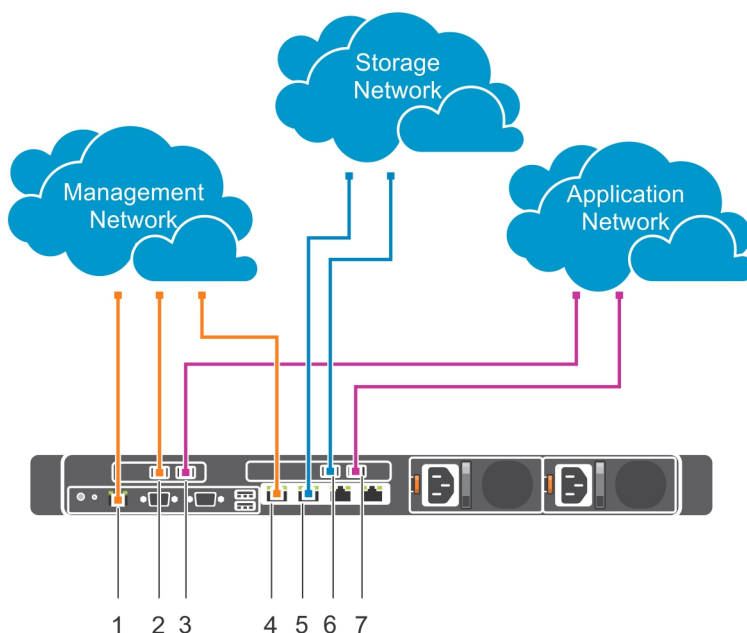


図 11. Dell SD630-S コネクタのネットワークへの接続 (ファイルサーバーソリューションのコネクタ)

表 6. ファイルサーバーソリューションにおける Dell SD630-S コネクタの接続

ラベル	ネットワークポート	ネットワーク
1	専用の iDRAC8 イーサネットポート (OS へのアクセスなし)	管理
2	PCI 拡張カード、スロット 1、デュアルイーサネット NIC、ポート 0	管理
3	PCI 拡張カード、スロット 1、デュアルイーサネット NIC、ポート 1	アプリケーション

ラベル	ネットワークポート	ネットワーク
4	LOM1、内蔵ネットワークドーターカード、	管理
5	LOM2、内蔵ネットワークドーターカード、10GbE	ストレージ
6	PCI 拡張カード、スロット 2、デュアルイーサネット NIC、ポート 0	ストレージ
7	PCI 拡張カード、スロット 2、デュアルイーサネット NIC、ポート 1	アプリケーション

Dell SD630-S スーパーバイザのネットワークへの接続

次の画像は、Dell SD630-S スーパーバイザのネットワークへの接続方法を示します。

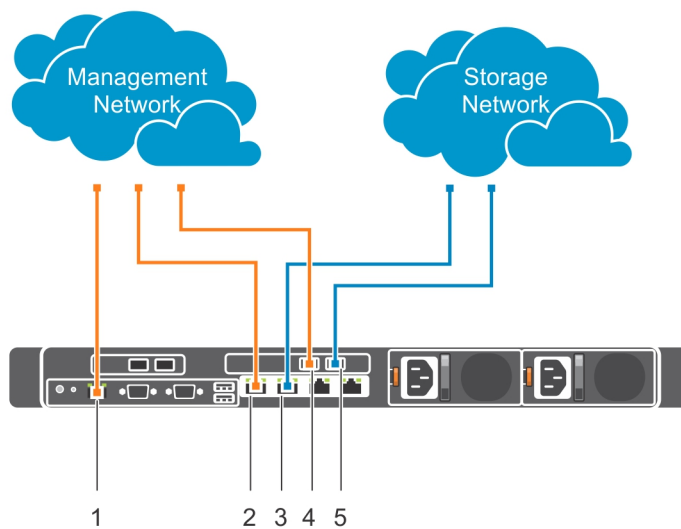


図 12. Dell SD630-S スーパーバイザのネットワークへの接続

表 7. スーパーバイザとしての Dell SD630-S の接続

指定子	ネットワークポート	ネットワーク
1	専用の iDRAC8 イーサネットポート (OS へのアクセスなし)	管理
2	LOM1、内蔵ネットワークドーターカード、	管理
3	LOM2、内蔵ネットワークドーターカード、10GbE	ストレージ
4	PCI 拡張カード、スロット 2、デュアルイーサネット NIC、ポート 0	管理

指定子	ネットワークポート	ネットワーク
5	PCI 拡張カード、スロット 2、デュアルイーサネット NIC、ポート 1	ストレージ

Dell SD7000-S デュアルノードサーバーのネットワークへの接続

次の画像は、Dell SD7000-S デュアルノードサーバーのネットワークへの接続方法を示します。

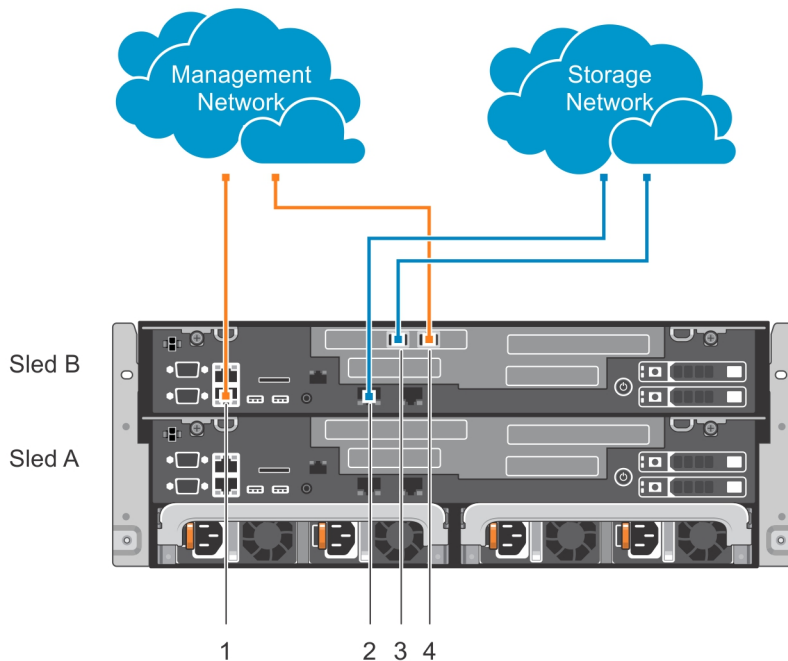


図 13. Dell SD7000-S デュアルノードサーバーのネットワーク（物理サーバー）への接続

Dell SD7000-S デュアルノードサーバーのネットワーク接続は、スレッド B（上の物理サーバー）に示されています。スレッド A（下の物理サーバー）は、スレッド B と同一に構成します。

メモ: Dell SD7000-S シングルノードは、スレッド A のみで構成されます。スレッド B の位置にはダミーノードを取り付けます。

表 8. Dell SD7000-S デュアルノードサーバーの接続

指定子	ネットワークポート	ネットワーク
1	イーサネットコネクタ 1、内蔵ネットワークポート	管理
2	イーサネットコネクタ 3、内蔵ネットワークポート	ストレージ
3	PCI 拡張カード、スロット 2、デュアルイーサネット NIC、ポート 0	ストレージ

指定子	ネットワークポート	ネットワーク
4	PCI 拡張カード、スロット 2、デュアルイーサネット NIC、ポート 1	管理

サーバーのコンセントへの接続

各 Dell SD7000-S 物理ディスクに冗長電源があることを確認するには、各物理サーバーから別の電源（無停電電源装置（UPS）または配電ユニット（PDU）など）に電源ケーブルを接続します。

サーバーの電源投入

構成しているサーバーの電源ボタンを押します。このボタンは、Dell SD630-S サーバーと Dell SD7000-S サーバーの正面にあります。システムの電源が投入されると、電源 LED が点灯します。

OS のインストール

オペレーティングシステム (OS) のインストール手順は、インストールする特定の OS に応じて異なります。OS をインストールするには、OS ベンダーに手順を確認してください。

OS のインストールの概要

このタスクについて

OS をインストールするには、次の手順を実行します。

手順

1. モニタ、キーボード、およびマウスをサーバーに接続します。
 - すべての Dell SD630-S サーバーおよび Dell SD7000-S サーバー内の各 2 台の物理サーバーを設定して仮想コンソールを有効にし、サーバーへのリモートアクセスを提供する、iDRAC8 Web インタフェースを起動することができます (オプション)。
 - (オプション) リモートシステムから iDRAC8 にログインします。
2. OS のインストールを開始します。
3. OS のパーティションを設定します。
4. 必要なパッケージ (yum アップデート) をインストールします。

リモートネットワークアクセス用の iDRAC8 の設定 (オプション)

このタスクについて


iDRAC8 ネットワーク設定を行ってリモートアクセスを有効にするには、次のオプション手順を使用します。

手順


1. サーバーが再起動してプロンプトが表示されたら、F2 キーを押して、**セットアップユーティリティ**を起動します。
2. **System Setup** (セットアップユーティリティ) メニューで、**iDRAC Settings** (iDRAC 設定) をクリックします。
3. **iDRAC Settings** (iDRAC 設定) メニューで、**Network** (ネットワーク) をクリックします。
4. NIC selection (NIC の選択) の右側で、ドロップダウンメニューから、**LOM1** を選択します。
5. iDRAC Settings (iDRAC 設定) メニューをスクロールダウンし、IPV4 設定を行います。

Dell iDRAC8 へのログイン (オプション)

このタスクについて


 **メモ:** この手順は、iDRAC Web インタフェースから起動したリモート仮想コンソールを使用して OS をインストールする手順を説明します。加えて、直接接続されたモニタを使用して、各サーバーを設定すること、ISO ファイルが含まれている起動可能な USB デバイスで直接起動して OS をインストールすることができます。

次の手順を使用して、仮想コンソールを起動します。

 **メモ:** この手順には、接続されている Dell サーバーのリモート管理に使用しているシステムに Java Runtime Environment (JRE) がインストールされている必要があります。デフォルト設定でコンソールが起動しない場合には、**Settings** (設定) を選択し、**Java** オプションを選択します。

手順

1. iDRAC にログインするには、管理ステーションで Web ブラウザを開き、アドレスバーに iDRAC IP アドレスを入力します。
2. **iDRAC Login** (iDRAC ログイン) ページでデフォルトのログイン資格情報を入力します。
 - a. **Username** (ユーザー名) ボックスに root と入力します。
 - b. **Password** (パスワード) ボックスに calvin と入力します。
3. **System Summary** (システムの概要) ページの **Properties** (プロパティ) タブで、**Virtual Console Preview** (仮想コンソールのプレビュー) の下にある **Launch** (起動) をクリックします。

 **メモ:** ネイティブまたは Java には、仮想コンソールの「プラグインタイプ」を設定します。お使いの IT 設定によっては、リモートアクセスを取得するために追加手順が必要となることがあります。詳細については、『Integrated Dell Remote Access Controller User's Guide』(Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーガイド) (Dell.com/idracmanuals) を参照してください。

仮想メディアを使用した、OS のインストールの開始 (オプション)

このタスクについて

インストールする OS の ISO インストールファイルを使用して仮想 DVD を作成するには、次の手順を使用します。


手順

1. 接続されている Dell サーバーのリモート管理に使用するシステムのディレクトリに ISO ファイルを配置します。
2. 仮想コンソールのセッション中に、コンソールウィンドウのトップメニューで、**Virtual Media** (仮想メディア) をクリックします。
3. ドロップダウンメニューで、**Connect Virtual Media** (仮想メディアの接続) をクリックします。
4. **Virtual Media** (仮想メディア) をクリックしてから、ドロップダウンメニューで、**Map CD/DVD** (CD/DVD のマップ) を選択します。
5. **Virtual Media – Map CD/DVD** (仮想メディア - CD/DVD のマップ) ダイアログボックスで、**Browse** (参照) をクリックします。
6. ISO へのパスを入力するか、ISO を検索することができます。次に、**Open** (開く) をクリックします。
7. **Map Device** (デバイスのマップ) を選択します。
8. **Next Boot** (次回起動時) をクリックしてから、ドロップダウンメニューで、**Virtual CS/DVD/ISO → OK** (仮想 CS/DVD/ISO > OK) を選択します。


9. **Macros** (マクロ) メニューをクリックしてから、Ctrl+Alt+Del を押します。
 サーバーが再起動し、BIOS のロード後に OS のインストールが開始されます。
 Centos/Redhat でのインストールについては、<http://docs.scality.com> をご覧ください。

OS のインストール

OS をインストールするには、本項の手順に従います。

 **メモ:** デルの担当者が OS をインストールした場合、ユーザー名は root で、パスワードは Passw0rd! です。ログイン時にパスワードを変更してください。

サポートされる OS については、「*Dell Storage Designed for Scality RING Support Matrix*」(Dell Storage Designed for Scality RING サポートマトリックス) を参照してください。

 **メモ:** 各 Dell SD M630 サーバーと Dell SD C7000 で、本項の全手順を繰り返します。

OS のディスクパーティションサイズの決定

この表を使用して、特定の OS ディスク容量のパーティションサイズを決定します。推奨されるパーティションサイズに関する最新情報については、Scality のマニュアル (<http://docs.scality.com>) と「Setting Up for Installation on Centos/Redhat」(Centos/Redhat でのインストール用の設定) の項を参照してください。

表 9. 推奨パーティションサイズ

Device	Mount (マウント)	パーティションタイプ	ファイルシステムのタイプ	Size (サイズ)	最小	オプション
/dev/sda1	/boot	GPT	ext4	4 GB	1 GB	起動の可否
/dev/sda2	/	GPT	ext4	20 GB	20 GB	該当なし
/dev/sda3	/var	GPT	ext4	ディスクを満杯にする	32 GB	該当なし
/dev/sda4	Swap	GPT	Linux Swap	物理メモリサイズの 1.5 倍 (32 GB)	16 GB	該当なし

Scality ソフトウェアのインストール準備

Scality ソフトウェアのインストールを準備するには、ネットワークインタフェースを設定します。


ネットワークインタフェースの構成

ネットワークインタフェースを構成するには、ネットワークインタフェースの構成を確認します。

ネットワークインタフェース構成の確認

ネットワーク接続には、RING 内の全コンポーネント（物理サーバー、コネクタ、およびスーパーバイザ）が必要です。ネットワーク要件は、お使いの特定の実装に応じて異なりますが、次の資格を満たす必要があります。

- すべての物理サーバーが相互に通信する必要があります。
- すべてのコネクタがすべての物理サーバーと通信する必要があります。
- スーパーバイザは、物理サーバーおよびコネクタと通信する必要があります。

 **メモ:** スーパーバイザとストレージサーバーまたはコネクタの間に接続を確立できない場合、ファイアウォールが正しく設定されていることを確認してください。詳細については、Scality マニュアルの「*Requirements and Recommendations for Installation*」(インストールの要件および推奨事項) ([Http://docs.scality.com](http://docs.scality.com)) を参照してください。

Scality インストールプロセスの機能方法

お客様の購入が完了すると、Scality のテクニカルサービスチームは自動的に通知を受けます。該当地区のサービスプロジェクトマネージャーは、お客様の主たる連絡窓口とプロジェクトキックオフミーティングのスケジュールを設定して、すべての導入作業に関する計画を作成します。

困ったときは

デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。販売、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスの問題に関するデルへのお問い合わせに関しては、次の手順を実行してください。

1. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
2. お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
3. カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a. **Enter your Service Tag** (サービスタグの入力) フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。
 - b. **Submit** (送信) をクリックします。
さまざまなサポートのカテゴリのリストが掲載されているサポートページが表示されます。
4. 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a. 製品カテゴリを選択します。
 - b. 製品セグメントを選択します。
 - c. お使いの製品を選択します。
さまざまなサポートのカテゴリのリストが掲載されているサポートページが表示されます。
5. Dell グローバルテクニカルサポートへのお問い合わせ先詳細：
 - a. [Global Technical Support](#) (グローバルテクニカルサポート) をクリックしてください。
 - b. **Contact Technical Support** (テクニカルサポートに連絡) ページには、Dell グローバルテクニカルサポートチームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

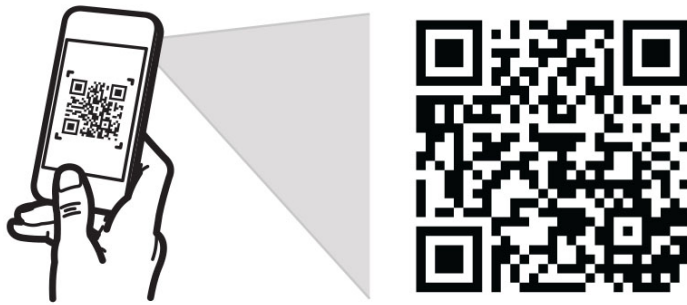
マニュアルのフィードバック

任意の Dell マニュアルページでマニュアルを評価、またはフィードバックを書き、**Send Feedback** (フィードバックの送信) をクリックしてフィードバックを送信することができます。

QR コード

QR コード (QRL) を使用すると、システム情報と使い方ビデオに素早くアクセスできます。これは、**Dell.com/QRL** にアクセスすることにより実行できます。QR コードを試してみるには、スマートフォンまたはタブレットを使用して次のイメージをスキャンしてください。

Quick Resource Locator



Dell.com/QRL/Solutions/SDScalitySeries